

現在実施しているカーボンニュートラルに関する主な取組

2022年1月6日現在

- 未来志向で地域課題の解決と新たな価値創造に取り組み、持続可能なまちづくりの実現を目指しております。
- カーボンニュートラルに資する取組を通じて、経済成長のための構造改革、イノベーションを誘発することで、地域の環境と経済、社会の好循環構造を促進いたします。

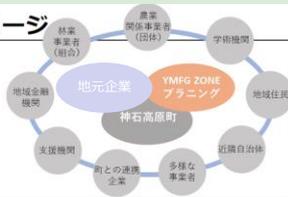
(1) 環境省地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 (2021年6月～)

<プラットフォーム形成・運営支援>

当社、神石高原町、地元企業の3者がプラットフォーム運営主体として地域プラットフォームを形成します。

環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ

・地域の豊富な森林・自然資源の活用及び新たな経済循環の構築に向けて、地域のNPO、移住者、その他地域金融機関など、随時多様なプレイヤーを柔軟に巻き込みながら、地域の現状やSDGsについての理解の促進や各事業テーマに基づく検討会・ワークショップの開催を通して、各主体間の相互のつながりを形成し、実効的な地域資源を活用した新たな経済循環及び地域環境保全モデルを構築できる場としていきます。



(2) 環境省×レノファ山口×YMFG (2021年11月～)

<多様なパートナーとの連携>

環境省とJリーグクラブ、金融機関で締結した連携協定に基づき、山口県におけるローカルSDGsの推進をはじめ、カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミー、分散型社会への移行の推進等について、全国に先駆けて先進事例創出に向けた取組を展開しています。



(3) 大崎上島町ゼロカーボン推進計画会議への参画 (2021年12月～)

<計画策定支援>

地域に根差した地域再エネ事業を推進するため、地方公共団体と地域関係者が連携して、地域に合った再エネ設備の導入計画、地域住民との合意形成など、持続的な取組としての検討を進めています。



出所：大崎上島町HP

(4) 徳山下松港カーボンニュートラルレポート検討会への参画 (2021年8月～)

<検討会への参画>

徳山下松港をカーボンニュートラルレポートとするため、次世代エネルギーの需要や利活用方針について検討します。

(活動内容)

- ✓ 新たなエネルギー供給拠点港として徳山下松港の目指すべき姿、取組の方向性に関する検討
- ✓ 水素、アンモニアの潜在需要の検討
- ✓ 他港との連携の検討 等



(5) 山口大学グリーン社会推進研究会への参画 (2021年12月～)

<研究会への参画>

企業、自治体、産業支援機関、大学等が連携したネットワークを形成し、情報交換や企業間・産学公連携による新たな研究開発等の推進を行うことで、地域におけるカーボンニュートラル実現に向けて貢献します。本研究会には7つの部会が設置され、新しいグリーン地域社会システムの創出を目指しています。

山口大学 グリーン社会推進研究会 キックオフイベント

近年の社会課題であるカーボンニュートラルの達成等によるグリーン社会の実現については、技術イノベーションのみならず経済社会イノベーションが不可欠です。山口大学は、地域の基幹総合大学としてグリーン社会の実現に貢献するため「山口大学グリーン社会推進研究会」を設立することといたしました。



出所：山口大学HP

(6) 地域の脱炭素社会の実現に向けた基礎調査業務の受託 (2021年8月～)

<調査・検討業務>

脱炭素社会実現に向けた計画策定の支援、案件の創出及び形成促進に向けた新たな取組を行い、官民のノウハウの向上とともに新たな脱炭素関連事業の創出を目指しています。

(2021年度受託：呉市)

